

- 問1 室町時代に登場した、絵入りの物語本のことを何と呼ぶか。「浦島太郎」や「一寸法師」のように庶民を主人公とした物語が多く描かれ、当時の人々に広く親しまれたものを次の中から選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 軍記物語 2. 御伽草子 3. 浮世草子 4. 人形浄瑠璃
-
- 問2 室町時代の中世社会についてまとめられた学習年表において、村の自治が進んだ時期の空欄を埋める組織名を考えます。有力な農民を中心に結成され、「寄り合い」と呼ばれる会議を通じて村のルールを定め、共同体としてのまとまりを強めた自治組織の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 惣 2. 五人組 3. 株仲間 4. 座
-
- 問3 「二条河原の落書」には、当時の京都で「繪旨（りんじ）」が乱発され、社会が混乱している様子が記されています。この「繪旨」とはどのようなものですか。その性質として正しい説明を選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 鎌倉幕府の執権が武士の土地裁判のために定めた法律 2. 室町幕府が借金を帳消しにするために出した法令 3. 平氏が貴族の反乱を抑えるために出した軍事的な指令 4. 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書
-
- 問4 室町時代の交通網において、琵琶湖沿岸の坂本や大津が物流の要所として発展した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海から運ばれてきた西国の特産品を、北陸地方へ送るための唯一の輸出港だったから 2. 海外貿易の拠点として、明（中国）から届いた貨幣や商品を西日本の各地へ卸す場所だったから 3. 室町幕府が日本海側の年貢を直接管理するために、巨大な倉庫群である蔵屋敷を設置したから 4. 日本海側から届いた物資を、水運から陸運へ切り替えて京都へ運ぶための中継地点だったから
-
- 問5 室町時代、農村では農民たちが自衛や用水の管理、年貢の納入などを共同で行うために団結し、自ら村を運営する組織がつくられました。このような自治的な村の組織を何と呼びますか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 座 2. 株仲間 3. 五人組 4. 惣
-
- 問6 室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと 2. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと 3. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと 4. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと
-
- 問7 北海道上ノ国町にある勝山館跡は、1457年に起きたアイヌの人々と和人の戦いの後に、和人側の拠点として築かれました。この戦いの指導者と時代背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. コシヤミンが指導者となり、室町時代に和人と戦った 2. アテルイが指導者となり、平安時代に朝廷軍と戦った 3. シャクシャインが指導者となり、江戸時代に和人と戦った 4. コシヤミンが指導者となり、明治時代に開拓使と戦った
-
- 問8 室町時代の外交において、三代将軍の足利義満が明の皇帝に対してとった外交姿勢とその後の貿易の形式について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 元寇による対立関係を解消するため、大量の銀を無償で献上する形式をとった 2. 貿易の利益を独占するため、明の皇帝からの日本国王という称号を拒絶した 3. 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ 4. 対等な立場での国交を求め、書状の中で「日出づる処の天子」と名乗った
-
- 問9 室町時代、足利義政が京都の東山に慈照寺銀閣を建てた時期に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 唐の文化の影響を脱し、日本の風土や生活に合わせた寝殿造などの国風文化が発達した。 2. 足利義満が金閣を建てた時期の文化で、公家文化と武家文化が融合した華やかな特色を持つ。 3. 禅宗の影響を強く受け、書院造や水墨画などが発達し、質素で深みのある美意識が重んじられた。 4. 町衆の経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃といった庶民的な文化が江戸を中心に開花した。
-
- 問10 鎌倉時代から室町時代にかけて、農村では有力な農民を中心に「惣（惣村）」と呼ばれる自律的な組織が形成されました。この組織の運営や特徴として、背景を含めて正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 幕府によって設置され、年貢の納入を確実にするために近隣の農家に連帯責任を負わせた。 2. 備中鍬や千歯扱などの農具を共同で購入し、大規模な新田開発を全国で主導した。 3. 領主から派遣された役人が中心となり、村の境界争いや犯罪をすべて幕府の法律に基づいて裁いた。 4. 寄合（よりあい）を開いて村独自の掟を定め、灌漑用水の管理や警察・裁判などの機能を自ら担った。
-
- 問11 奈良市柳生にある石碑には、1428年の正長の土一揆に際して、徳政が行われた事実を後世に伝える文章が刻まれています。この石碑が象徴している、当時の民衆の要求や行動の目的として最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 信仰を共にする門徒たちが、守護大名の支配を排除して自治を行うこと 2. 商業の利権を独占するため、有力な寺社や公家に税を納めること 3. 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること 4. 領主の交代を求めて、特定の村落が他の地域と協力して武力行使すること
-
- 問12 院政期から室町時代の終わり頃にかけての「中世」と呼ばれる時代区分に関する説明として、当時の政治や社会の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 天皇が唐の制度を模範とした律令に基づいて全国を直接支配した 2. 執権や将軍を中心とした武士が政治の実権を握り、土地を媒介とした主従関係が築かれた 3. 戦国時代を勝ち抜いた大名が検地や刀狩を行い、兵農分離を徹底させた 4. 明治維新によって天皇中心の政治に戻り、文明開化が進められた
-
- 問13 室町時代、有力な農民たちが中心となって結成し、村の掟の制定や用水の管理などを自律的に行った自治組織を何といいますか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 惣 2. 座 3. 株仲間 4. 五人組

答え合わせ・解説

問1	答え 2 御伽草子	室町時代には、貴族や武士だけでなく、庶民の間にも文化が広がりました。この時期に流行した御伽草子は、挿絵が入った短い物語本であり、庶民の姿や願いが反映された内容が特徴です。江戸時代に井原西鶴らが手がけた浮世草子や、浄瑠璃の語りに合わせて人形を動かす人形浄瑠璃と混同しないよう時代背景を整理しておく必要があります。
問2	答え 1 惣	室町時代になると、農民たちは生産力の向上や自衛の必要性から結束を強め、「惣（惣村）」と呼ばれる自律的な村落組織を形成しました。この組織では、有力な農民たちが「寄り合い」という会議を開き、村独自の掟（村法）を定めたり、用水路や入会地（山林）の管理を行ったりするなどの自治を行いました。選択肢にある「座」は商工業者の組合、「五人組」は江戸時代の連帯責任制度、「株仲間」は江戸時代の中期以降に公認された商人の組合です。
問3	答え 4 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書	建武の新政において、後醍醐天皇はそれまでの先例や慣習を否定し、すべての物事を天皇の直接の意志である「綸旨」によって決定しようとしてしました。しかし、土地の所有権などをめぐって内容の矛盾する綸旨が次々と出されたことが、武士たちの大きな混乱と反感を買う原因となりました。
問4	答え 4 日本海側から届いた物資を、水運から陸運へ切り替えて京都へ運ぶための中継地点だったから	室町時代の日本海側（北陸など）からの物資は、一度陸路で琵琶湖北岸へ運ばれ、そこから船で湖を縦断して大津や坂本に到着しました。大津・坂本は京都に極めて近く、ここで船から降ろされた荷物が馬借の手によって京都へ運ばれたため、水運と陸運をつなぐ「中継地」として重要な役割を果たしました。蔵屋敷は主に江戸時代の制度であり、また琵琶湖は瀬戸内海のルートとは直接関係ありません。
問5	答え 4 惣	室町時代に有力な農民（地侍）を中心に結成された農村の自治組織を「惣（または惣村）」と呼びます。それまでの荘園領主による一方的な支配に対し、村人たちが団結して用水の管理や警察権の行使、入会地（共有地）の管理などを自律的に行うようになりました。選択肢にある「座」は商工業者の同業者団体、「株仲間」は江戸時代の商業組織、「五人組」は江戸時代の年貢納入などの連帯責任制度を指します。
問6	答え 2 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤りです。
問7	答え 1 コシャマインが指導者となり、室町時代に和人と戦った	1457年に起きた「コシャマインの戦い」は、室町時代の出来事です。これに対し、シャクシャインの戦いは1669年（江戸時代）、アテルイの抵抗は8世紀末から9世紀初め（平安時代）の出来事であり、それぞれ時期や背景が異なります。勝山館はこの戦いの反省から、和人側の統治・防衛拠点として整備されました。
問8	答え 3 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ	足利義満は、巨大な帝国である明との貿易から得られる利益を幕府の財政基盤とするため、プライドよりも実利を優先しました。彼は明の皇帝に対して家臣としての立場（日本国王）を認め、貢ぎ物を送る「朝貢」という形式をとることで、公式な国際関係を築きました。
問9	答え 3 禅宗の影響を強く受け、書院造や水墨画などが発達し、質素で深みのある美意識が重んじられた。	足利義政の時代に栄えた東山文化は、前の時代の華やかな北山文化とは対照的に、禅宗の精神に基づいた「わび・さび」といった質素な美しさを追求しました。この文化の中で確立された書院造や水墨画、茶の湯などは、現代に続く日本的な生活様式や美意識の大きな源流となっています。
問10	答え 4 寄合（よりあい）を開いて村独自の掟を定め、灌漑用水の管理や警察・裁判などの機能を自ら担った。	室町時代になると、農民たちは自衛や水の管理などのために結束を強め、「惣」と呼ばれる自治的な村を形成しました。村の重要な意思決定は「寄合」という会議で行われ、村独自のルールである「惣掟（そうおきて）」に従って自立的な運営がなされました。幕府による連帯責任（五人組）や、備中鋤を用いた大規模な新田開発は江戸時代以降の特徴であるため、中世の社会構造とは異なります。
問11	答え 3 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること	奈良県の「柳生徳政碑文」には、徳政によって借金がなくなった事実が刻まれており、当時の民衆が実力行使によって「徳政（借金の帳消し）」を勝ち取ったことを証明する貴重な資料です。土一揆は単なる暴動ではなく、借金で生活が立ち行かなくなった人々が生きるために起こした団結行動でした。
問12	答え 2 執権や将軍を中心とした武士が政治の実権を握り、土地を媒介とした主従関係が築かれた	中世は、平安時代末期の院政期に始まり、鎌倉幕府の成立や室町幕府の展開を経て、武士が政治の主導権を握った時代です。土地の支配をめぐって将軍と御家人の間で「御恩と奉公」という主従関係が結ばれたことが大きな特徴です。他の選択肢については、古代（律令政治）、近世（兵農分離）、近代（明治維新）の説明となっています。
問13	答え 1 惣	室町時代の村落では、農民が自立性を高め、有力な農民を中心に「惣（惣村）」と呼ばれる自治組織が作られました。惣では「寄合」という会議が開かれ、村独自のルールである「掟」を定めたり、共同作業の調整を行ったりしました。選択肢にある「座」は中世の商工業者の同業者組合、「五人組」は江戸時代の連帯責任制度、「株仲間」は江戸時代の特権的な商人の組合を指します。